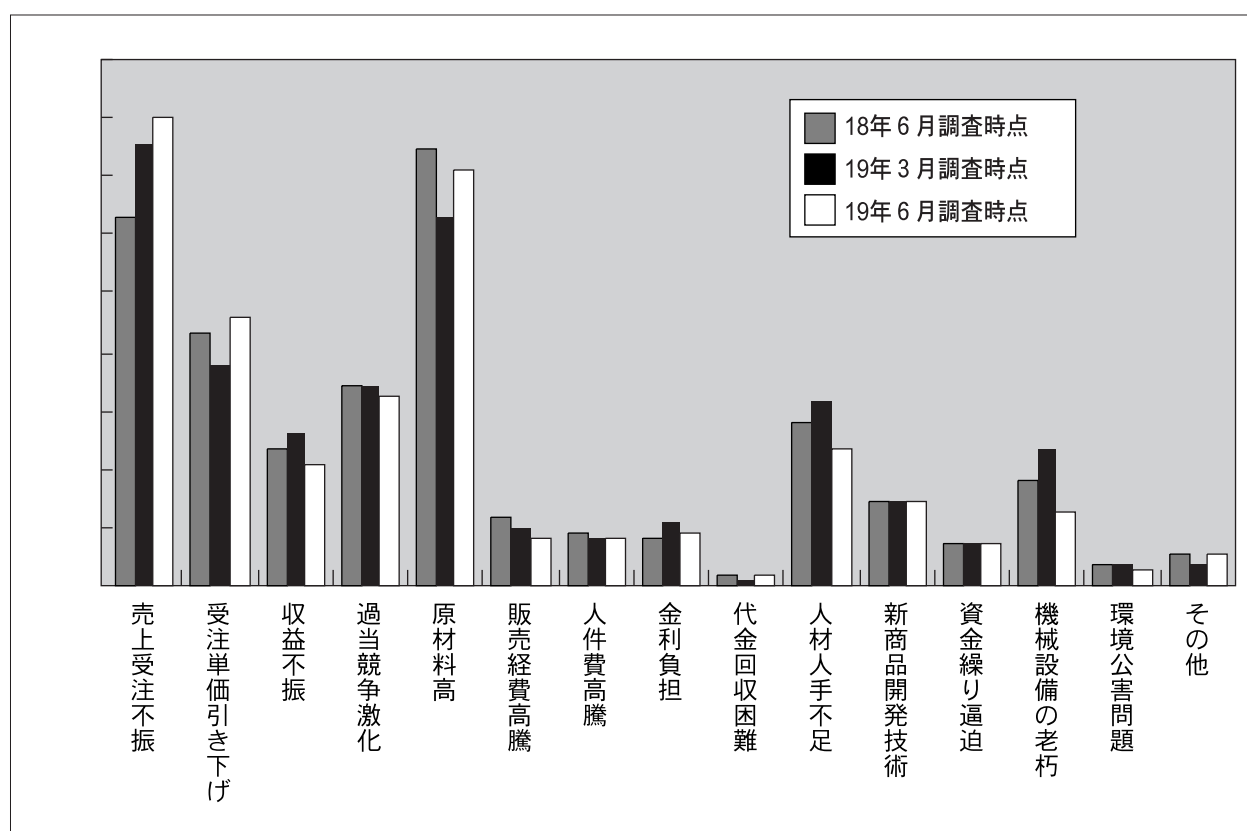


IX. 当面の経営上の問題点

(%:複数回答あり)

	18年6月 (前年)	19年3月 (前回)	19年6月 (今回)	19年6月		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	31.7	37.9	40.1	(36.6)	(43.2)	2.2
受注単価引き下げ	21.6	19.1	22.8	(20.4)	(24.9)	3.7
収益不振	11.8	13.2	10.4	(11.0)	(9.9)	-2.8
過当競争激化	17.2	16.9	16.1	(8.9)	(22.5)	-0.8
原材料高	37.3	31.5	35.4	(50.8)	(21.6)	3.9
販売経費高騰	5.7	4.9	4.2	(2.1)	(6.1)	-0.7
人件費高騰	4.7	3.9	4.2	(3.7)	(4.7)	0.3
金利負担	4.2	5.6	4.7	(3.7)	(5.6)	-0.9
代金回収困難	0.7	0.5	0.7	(0.0)	(1.4)	0.2
人材人手不足	14.0	15.6	11.9	(12.0)	(11.7)	-3.7
新商品開発技術	7.4	7.3	7.4	(12.6)	(2.8)	0.1
資金繰り逼迫	3.7	3.7	3.7	(1.0)	(6.1)	0.0
機械設備の老朽	9.1	11.5	6.4	(8.9)	(4.2)	-5.1
環境公害問題	1.7	1.7	1.2	(1.6)	(0.9)	-0.5
その他	2.7	1.7	2.7	(1.6)	(3.8)	1.0



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振40.1%(前期比+2.2ポイント)、②原材料高35.4%(前期比+3.9ポイント)、③受注単価引き下げ22.8%(前期比+3.7ポイント)の順となっている。
- (2) これを製造業と非製造業に分けてみると前回アンケート同様、製造業では原材料高50.8%(前期比+6.3ポイント)、非製造業では売上受注不振43.2%(前期比+0.5ポイント)が高いポイントとなっている。
- (3) 今回調査では原材料高・受注単価引下げが、前期比3.0ポイント以上増加した。製造業では原材料高が50.8%と半数の企業が問題点としてあげた。また、非製造業では受注単価引下げが5.2ポイント増加し24.9%となっている。